

平成26年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(今泉地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

**平成26年度 第2回
まちづくり懇談会《今泉地区》実施結果報告書**

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《今泉地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成26年7月10日（木）午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 今泉地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 33人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当参事，東市民活動センター所長，土木管理課長，広報広聴課長

5 懇談内容

(1) 地域代表あいさつ

今泉地区コミュニティ協議会 会長

(2) 市長あいさつ

(3) 地域代表意見

No.	テーマ	所管課
1	J R 宇都宮駅東口の整備について	地域政策室
2	今泉小学校子ども家等の環境整備について	生涯学習課 学校管理課 地域政策室 みんなでまちづくり課 教育企画課

(4) 総合計画の6つの柱に基づく意見交換

テーマ		
市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために		
(1)愛情豊かに子どもたちを育む		
(2)日常生活の安心感を高める		
(3)危機への備え・対応力を高める		
No.	テーマ	所管課

1	J R東口の繁華街について	生活安心課 子ども未来課 学校健康課
---	---------------	--------------------------

(5) 自由討議

No.	テーマ	所管課
1	今泉小学校の東門設置について	学校管理課 土木管理課 公園管理課
2	東雲通りにおける車道と歩道の境界ブロックについて	道路保全課
3	指定管理者制度について	みんなでまちづくり課
4	郷土資料館の設置について	文化課 学校管理課 学校教育課
5	防犯灯のLED化について	生活安心課
6	駅東1号児童公園のホームレスについて(1)	生活福祉第1課 生活福祉第2課
7	駅東1号児童公園のホームレスについて(2)	公園管理課 生活福祉第1課 生活福祉第2課
8	飲食店街のごみの出し方について	ごみ減量課 廃棄物対策課

(6) 来賓あいさつ

地区居住市議会議員 金沢 力 氏

地区居住市議会議員 保坂 寿 氏

(7) 市長謝辞

■地域代表意見 1 (要旨)

テーマ	J R宇都宮駅東口の整備について
------------	-------------------------

今泉地区の住民にとって、「J R宇都宮駅東口の整備」がどうなるかということは非常に関心が高い。

前回の懇談会時にも要望したが、「グループ七七八」の計画が白紙となった状況下であり、その時の市の回答は「平成25年3月頃までに方向性を決め、しっかりとした開発を行いたい。」だった。現在は、民間による事業用地の暫定利用が行われている現状である。

平成24年3月、駅東口地区整備推進懇談会から「宇都宮駅東口地区まちづくりについて」の提言書が市長に提出された経緯がある。

これらを受け、市は県都の玄関口にふさわしい「駅東口の整備」と「駅東口のまちづくり」について、どのような展望でどう取り組むのか伺いたい。

現在、宿郷1丁目、2丁目周辺は飲み屋街になっている。夜には多くの客引きがあり、これが県都の東口でいいのかと危惧している。併せて、まちづくりの考え方、具体的なスケジュールを示していただきたい。

回答	所管課： 地域政策室
-----------	-------------------

【市長】

駅東口の整備は指摘の通り、地域の代表者の方々、学識経験者、経済団体等で構成されている懇談会からも提言をいただいた。

また、市議会からも駅東口のまちづくりのあり方や導入が望ましい機能等をまとめた提言書をいただいた。

多くの方が大変注目し、併せて大変心配もしていると思う。市としては地域内交通あるいはバス路線を増やし、横軸のL R Tを整備し、人やもの、お金や情報が交流する県都の玄関口にふさわしいまちに行きたいと考えている。

駅東口の整備に関心のある民間事業者を対象に、施設立地の条件や可能性について調査した。その結果、二つの大きな意見に集約することができた。

一つ目は様々なイベントの開催が可能なホール機能を含めた大型商業施設を立地する提案である。こうした大型商業施設は多くの集客や経済的に大きな波及効果が生まれると思うが、自動車が増加し、駅東口周辺の渋滞を引き起こすという課題が出た。

二つ目は、民間が商業やホテル、オフィスなどを作り、市がコンベンション施設の整備をするという提案であった。

しかし、市がコンベンションホール等を設置するには多額の整備費を負担することになる。なるべく民間の力を借りて、民間の力で整備をして行きたいと考えているので、これも課題があり難しい状況である。

これから課題を整備するとともに、特にL R Tの整備については、駅西口から駅東口へ駅の2階部分を横断するにあたり、どのように横断させるのかをJ Rと協議をし

ているところである。

駅東口は宇都宮にとって最も素晴らしい土地であり、貴重な誘致が出来る場所である。最後のチャンスだと思うので、宇都宮が発展するための大きな起爆剤として活用するためにも安易に決定せず、時間を掛けてでも慎重に行って行きたいと思う。

ただし、それは10年も20年も先ということではなく、多少慎重に考えるということであり、時間をかけて進めていきたいと思う。

また、客引きなどの悪い環境についても、駅東が整備されることにより、人が増え、様々な人の目があることにより犯罪抑止にも繋がると思う。客引きなどが出にくい環境を作るためにもそうしたことも意識した駅東口の整備を行って行きたいと思う。

なお、地元の方々からも様々な意見をいただいているので、今後、お気づきの点やアイデア等があれば市へ提言いただきたいと思う。

■地域代表意見 2（要旨）

テーマ 今泉小学校子どもの家等の環境整備について

今泉小学校の通学環境は児童数の増加傾向にある。子どもの家は定員40人に対して57名受け入れている。子どもの家は2階建ての構造で非常に狭い環境になっている。これから27年度に向け、働く母親に対してどのようにサポートしていくのかということで、お金だけでなく、ハード面で子ども達が良い環境で生活できるか、留守家庭で預かっていただけるのかということを見ると、現在は狭くて暑いという非常に環境が悪い状況である。我々もこの建物の狭さを痛感しており、何とかしなければいけないということで市の協力により何とかやりくりをしている。我々としても児童数が増え、100名になったらどうしようかと考えており、断わらざるを得ない環境になってしまうとあまりよろしくないのではないかと思う。

平成27年度以降についてどのような対策を考えているのか。

また、プレハブ校舎が出来たが、地域と小学校の保護者がイベントを行う際に場所がない。校庭でソフトボールをやろうとすると非常に危険だということであり、施設面の抜本的な対策を取っていただかないと良い環境にはならない。若い人達の地域への定着の問題に発展すると思う。その辺も含めて市の考えを聞きたい。

回答 所管課：生涯学習課、学校管理課

【市長】

平成27年度から「子ども子育て新制度」がスタートする。

幼稚園や保育園で子どもを預かってもらうことで働く母親が増えてきた。しかし、小学生になると預ける所が無いので仕事を辞めざるを得ない状況に対応するため、国として新制度をスタートさせることになった。

その特色として、子どもの家の事業で受け入れを小学6年生まで拡大することになるので市内の全ての子どもの家が狭くなることが見込まれる。

市としてはそれに対応するために、需要の見込みや必要性などのアンケート調査をした。

今泉小学校の子どもの家については、施設の定員を超える可能性があるので学校と協議をして、来年4月からは平成18年度に造った増設校舎の一部を子どもの家として当面对応していきたいと考えている。

一時的に児童数が増えても、今後減ることも予測されるので、十分に検討しながら対応していきたいと思うが、現場の方々に不便や苦勞がかからないように市として責任を持ち、子どもの家の対応をしていきたいと思う。

また、校舎、校庭等については、駅東側のマンション建設により人口が増え、子どもの数も増えてきたところであり、今泉小学校はほとんどの小学校に反して教室が足りない事態になった。

そこで普通教室の不足が生じないように校舎の増設工事を行ってきたが、増設にあたり、校庭に影響が出てしまうので、影響がなるべく出ないように学校と協議をするとともに、地元の方々へ説明会を開催し、設置場所や建物の大きさなどの説明をさせていただいた。

なお、防災倉庫についても、なるべく校庭を広く取るために、そして地元の方々が不便を感じないように、地元の方々の声も聴いて移転をしたところである。

平成25年度の校舎増設にあたり、児童数の増加を見据えて増設したので当面の間、普通教室の不足は生じないと考えている。

ただし、不測の事態が生じた時は、市として教育委員会とともに責任を持って対応していく。

再質問 今泉小学校子どもの家等の環境整備について

その子どもの数が増える、増えないという判断が我々には非常に難しい。当然市でも判断は難しいと思うが、逆に自治会に入っているのにも関わらず、例えば城東へ行かざるを得ないなど地域はこちらにあっても学校はそちらに行かなければならないとなると自治会に入りたがる父兄もいなくなるだろう。自治会の会員が少なくなると応援が出来なくなってしまふ。

子ども達だけのことではなく、全体を考えていただいて対策を取らないと、最終的に施設が出来れば良いということではなく、どのような対策をするのか長期的にきちんとやっていただきたいと思う。

回答 所管課：地域政策室、みんなでまちづくり課、教育企画課、学校管理課

【市長】

駅東の再開発が本格的に始動したり、あるいは完成をしたりすると今泉地区は相当に魅力度を増し、住宅、特に集合住宅が増えると思う。どこまで正確に把握して対応できるのかは我々の責任だと思うので、きちんと対応をするとともにコミュニティの維持が出来、更にコミュニティの充実を図れるように対応していきたいと考えている。

特に自治会の加入率については、行政自らが起こした理由で加入率が低くなるということは我々が自分で自分の首を絞めることになるので、自治会の加入率を上げ、行政と自治会の方々にとってマイナスにならないよう、その点も十分に配慮しながら学区等の見直しについても十分に大きな枠で見ながら進めていきたいと思う。

■総合計画の6つの柱に基づく意見交換（要旨）

テーマ	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために (1) 愛情豊かに子どもたちを育む (2) 日常生活の安心感を高める (3) 危機への備え・対応力を高める
------------	--

第5次総合計画は、5年先の市民の幸せ、100年後の都市の繁栄、5年先も皆さんに幸せだと感じていただくまちづくりを実践するが、更にそこに100年先も見据えた持続可能なまちづくりをするための計画であり、宇都宮市のまちづくりの羅針盤となるものである。

(1) 愛情豊かに子どもたちを育む

日本創生会議は20歳から39歳の女性の若年女性の流出により、2010年と比較して、2040年までに若年女性が50%以上減少する市町村が896になると推定した。宇都宮市も少子化の進行により、0歳から14歳の年少人口が8年後には約6,500人減少する見込みとなっている。

また、核家族化による世代構成の変化により、家族や地域の子どもの育んでいく考え方や人間関係が希薄化している。

地域、事業者、行政等が連携をして子育てに優しい環境を創出することが大きな課題である。

先ず地域社会が一体となり、子ども子育て支援に取り組み、子育て家庭が愛情を持って安心して子どもを産み育て、子どもが生き生きと子どもらしく育っているという今後5年間での望ましい姿を目標に設定した。

目標達成に向けての主な事業は、妊娠、出産に対する支援の充実、子どもの健康支援の充実、保育所や認定子ども園等の整備促進等を掲げた。

宇都宮市は14回分の妊産婦検診に対して、市独自で助成している。14回分の助成は自治体の中で一番多い。妊娠しても産婦人科へ行かず、産み月になって初めて病院に飛び込む方が全国的に増える傾向にあると言われている。当然、医師は診察したことも何のデータも無い患者を診ることはリスクが大きいので出来ないと言われている。病院のたらい回しになってしまうというニュースを聞いた方も多いと思う。

そこで宇都宮市は市独自でいつでも検診が出来る体制を作るとともに妊娠をされた方や出産後2か月後までの医療費を無料にしている。

また、保育所や認定子ども園の整備については、認定子ども園の新設、民間保育園の保育拡大のための施設増築等の支援等を行っている。その結果、3年連続で4月時点での待機児童はゼロになった。しかし、秋頃になると待機児童が増える傾向にあるので今年も定員を240名増員した。また、新たに9施設の改築を行い対応した。

これからも、子育てに不安や負担を感じる方が少なくなり、産みやすい、育てやすい環境をつくり、国の少子化対策とあわせて対応していきたいと思う。

(2) 日常生活の安心感を高める

宇都宮市では適正に管理されていない空き家がととも増えてきた。そして、生活環境を害する問題の中で、オレオレ詐欺や還付金等の詐欺も大変増えてきた。

地域ぐるみの活動を促進していくとともに市民、事業者、行政の連携を強めていかなければ対策は取れないので、日常生活の安心感を高めることに力を入れていく。

地域社会、事業者、行政が連携して日常生活を取り巻く様々な不安を解消し、市民が安全で安心をした生活を送っている今後5年後での望ましい姿を目標に設定した。

目標達成に向けた主な事業は、地域の防犯環境整備の推進、交通安全の教育の推進である。

特に空き家対策は、議会において空き家等の条例が制定され、7月1日から施行された。

繁茂によって枝が交通の妨げになっている、物が落ちてきて通行者にとって危険である、屋根や塀が朽ちて倒れて危険である、あるいは犯罪の温床になるような隠れ家になってしまう、放火や火災の要因になってしまうといった空き家に対して、指導だけではなく特に危険な状態になった時には改善命令も出せるようにした。そして、従わない場合、悪質だと認められた場合には罰則も設けた。過料を取り、持ち主の氏名の公表を行う。当然、危険回避のためには行政がすぐに対応が出来るようにもした。

また、交通事故もととも増えている。特に高齢者が交通事故に遭い、犠牲になっているので、それを防ぐためにスリーS運動、ストップ（止まる）、シー（見る）、スロー（ゆっくり）の3つを栃木県、県警等と力を合わせてこれからも進めていきたいと思う。

目標は市内の人口1,000人当たりの刑法犯の認知件数を減らしていくとともに交通事故の発生件数、特に高齢者の交通事故を少なくしていくまちをつくっていききたいと思う。

(3) 危機への備え・対応力を高める

東日本大震災等により、安全、安心に対する関心は高まっている。また、先月は集中豪雨により宇都宮でも土砂崩れが発生した。八幡山の東側だが避難勧告も発令する状況になった。危機に対して適切に対処できるよう、災害などに強いまちを日頃からつくっていくことが必要である。

こうしたことから市民、地域、行政の危機への備えや対応力が高まり、地震や風水

害をはじめとする様々な危機が発生した場合に適切な行動が出来るようになっているという姿を5年後の望ましい姿として目標に設定した。

そのために、まずは災害が起きた時に情報通信技術、ICTを利用して情報を伝達する。特に大規模災害などの対応として災害現場の映像をリアルタイムに現場から対策本部の方でも映し出せるシステムを現在整備している。

また、自主防災会の方々には活動に際して大変な苦勞があるかと思うが、各地区で防災訓練を開催する数を増やしていただく。

安全で安心なまちには人が集まる。これからも安全で安心なまちづくりに力を入れていきたいと思う。

発言 1 JR宇都宮駅東口の繁華街について

JR宇都宮駅の東口のほとんどが宿郷西自治会に入っている。東口の繁華街は風俗店や飲食店がひしめき合っており、ご存知のとおり宇都宮市内でも一、二を競う場所になってしまった。夜間になると客引きが交差点をふさぐように立ち、帰宅するまでに何人からも声を掛けられる。また、自宅前に違法駐車を平然とする。自分の車を出そうとしても車が出せない状態が続いている。夜中は酔っ払いも多く、大声でまちの中を怒鳴って歩き、喧嘩も多い環境の中に私達は住んでいる。

せめて客引きや違法駐車だけでも無くなれば少しは安心して住むことができる。地区内には、夜は怖いから一切外に出ないと言う人もいる。我々は安心安全なまちづくりという市の基本計画に逆行している生活をしていると思う。

また、スクールゾーンについて、東口の繁華街には風俗店を紹介する雑誌が昼間でも置いてある。先日環境点検を行ったが、そういうものが昼間から並んでいる所を子ども達は帰るのである。そのような雑誌は朝から置いてあり、登校する時に子ども達の目に入るわけである。夜、飲みに来る人達へ出すのなら仕方がないが、子ども達が歩く時間帯にそういうものを出されては非常に困る。

最後に、道路についてだが、宇都宮の東から西に抜ける道路は今泉地区では白楊高通りと石井街道の2本しかない。真ん中に鬼怒通りがあるが、西へは抜けられない。そして渋滞の時間帯に子ども達は登校しなければならない。渋滞を避けるため、車は脇道へどんどん入っていくので、子ども達の安全はどのように守れるのかということを我々は非常に心配している。

これは今泉地区だけの問題ではなく、中央地区も城東地区も同じだと思う。

その辺を考えていただければありがたい。

回答 所管課：生活安心課，子ども未来課，学校健康課

【市長】

一つ目、二つ目の意見について、東警察署と何度か協議を行っている。今年も協議をしているが、駅東口については官民一体となり取り組んでいかなければ対応出来な

いと思っている。何が出来るか、それぞれが役割を担って行かなければならないが、警察から行政へは防犯カメラは抑止力となり、何か起きた時の役に立つので防犯カメラ設置の要望をいただいた。市としては警察にパトロールを多く行っていただき、違法駐車や違法な声掛けへの対応をしてもらおうよう話をした。また、客引きをする輩がいるから本来なら東口にはもっとたくさんのお客さんが来るはずなのに来ないということで、自分達で客引きをやめさせようと飲食店の若い経営者達が会を結成したという話も聞いている。行政としてはそういう会を支援して行きたいと思う。

効果はすぐに出ないかもしれないが行政として地道にやって行きたいと思う。子どもに見せられない雑誌などは昼夜にかかわらず出すべきではないと思う。違法駐車や雑誌などを置いておくことについて何か対応出来ないか警察と協議をして行きたい。

三つ目の意見について、交通渋滞により子ども達の安全な登校が確保出来ないという問題は宇都宮市のあらゆる所で子ども達の通学路の問題として起きている。地域によって対応の仕方が違うが、東口は車の通行量が多すぎると思う。かつては西口と東口の下に道路を通す話も出たが、地元の反対があったので出来なかったということである。現在は新幹線の橋げたが地中深くあるので、その下を抜くことは不可能だとJRから正式に話があった。現状を少しずつ良くしていくためには、車から公共交通に転換をしていくことである。平松本町線のバス路線を増やしたところであり、東西基幹公共交通のLRTも出来れば公共交通で通勤する方が増えていくので、交通問題にもプラスになるかとも思う。日頃からPTAの皆様もご苦勞されているが、学校と連携を取り、スクールゾーンの中において考慮が出来、改築出来ると思われる交差点の改良や歩道整備をしていきたいと思う。

■自由討議（要旨）

発言 1 今泉小学校の東門設置について

今泉小学校には西門と南門しかない。西門がある東雲通りは非常に狭く、また通学通勤時に車が多い。今泉小学校は500名を超える児童数であり、主に南門を利用しているが、今の状態では非常に危険である。

小学校の東側の今泉第一公園の東側に遊歩道があり、遊歩道が途切れている。そこに校門を造っていただきたい。もっと言えば烏山信用金庫の所から歩道橋を造っていただければなおありがたい。

回答 所管課：学校管理課，土木管理課，公園管理課

【市長】

東側に次々とマンションなどが出来ており、今泉地区は今泉小学校の東側の面積が広いので、東門を造ることは当然、子ども達の利便性にも繋がり、時間の短縮にもなると思う。PTAの皆様や学校側と協議をさせていただき、必要性があるということ

になれば緑地帯は市で管理しているのでそこに新たな東門を造ることは可能だと思うので、その時には対応させて頂きたいと思う。どのくらいで出来るかは学校、PTAの皆様と協議をさせて頂きたいと思う。

歩道橋については、持ち帰らせていただき、設置には様々な条件があると思うので警察との協議が必要になるだろう。各方面と協議をさせて頂きたいと思う。

発言 2 東雲通りの境界ブロックについて

今泉小学校西側の東雲通りは雨が降ると普通の雨の時でも車道と歩道の境界ブロックとの間に雨水がたくさん溜まってしまい、車が通行するたびに水撥ねがひどい状況である。小学校1年生の保護者からは、時には頭から全身水を被って帰って来たと聞いた。自分もよく通るが、腰のあたりまでの水撥ねを何度も経験している。

そこで、構造的な対策を取っていただき、水撥ねがしないようにしてもらうのが一番だと思うが、それが出来ない場合、例えば車のスピードがある程度遅ければそれ程水撥ねしないのでスピード制限をしてもらうとか「雨天時水撥ね注意」のような看板等を設置するなどの対策を取ってもらえないか。

回答 所管課： 道路保全課

【市長】

東雲通りに限らず市内にはそういう道が結構ある。古い道路は歩道と車道の高さが同じだったり、東雲通りもそうだと思うが車の交通量が多いために徐々に路面が沈んでしまい、水が溜まってしまう道路構造に変化してしまっているのだと思う。

東雲通りは歩道と車道をブロックで区別し、車道からの雨水をブロックの切れ目から歩道側にある排水溝へ通らせて処理をする構造になっている。処理が出来るようになっているにも関わらず、ブロックが長すぎて切れ目が少なすぎるので、早急に切れ目を入れて車道からの雨水の流れをよくして処理が出来るようにしていきたいと思う。

そしてヒントもいただいた。車のスピードが出なければ水撥ねはしないが、他の地区でも言えることなので、警察と速度制限が出来るか協議をして、制限が出来る場合は速やかに行いたいと思うが、地域の方々にも影響があることなのでそれも踏まえて対応をしていきたいと思う。

発言 3 指定管理者制度について

コミュニティセンターの指定管理者制度についてお聞きしたい。指定管理者制度については地域の方々からは非常に分かり辛いと聞く。その上、地域の負担が大きいように思われる。コミュニティセンターは市の施設なので市の職員を置き、市が直接管理することは出来ないのか。事務所にはコミュニティセンター職員がいるが、これは

地域雇用となっており、しかしながら仕事の内容は市が決めている。

地域としては非常に分かりにくい状況である。このことについて市長はどう考えているか。

回 答	所管課：みんなでまちづくり課
------------	-----------------------

【市長】

市街地部には地域コミュニティセンターが26か所あるが、地域の方の利便性が向上するように指定管理者制度により地域の方々に管理をしていただければサービスの向上と痒い所にも手が届くということでこの制度を取っている。

お話にあった支障が出ているという問題については当然市としても協議が出来るので地域の管理者の皆様から指摘をいただき、どうすれば改善出来るか協議していきたいと思う。現状ではすぐには出来ないものであるが、今の中でどう改善出来るか対応を取らせていただきたいと思う。

その他にもいろいろあると思うのでそうしたものを全て聞かせていただき、一度協議の場を作りたいと思うので声を聞かせていただきたい。今までも様々な所で現場にそぐわない点や改善案をいただき、手を加えて改善させている。

その地域にあった改善があると思う。まずは様々な現状、特に不備な点をお聞きして、改善していきたいと思う。

発 言 4	郷土資料館の設置について
--------------	---------------------

宇都宮市に郷土資料館をつくったらよいと思う。生徒数が少なくなり、空き教室もあると思うのでそういうところに郷土資料館をつくってはどうか。様々な市や町に行くが、どこの市や町にも大概1つはある。ここには無いので寂しいと思う。子ども達のため、また、歴史を学ぶために郷土資料館をつくってほしい。

回 答	所管課：文化課，学校管理課，学校教育課
------------	----------------------------

【市長】

郷土を愛する心や誇る心、郷土の成り立ちは我々も先人から引き継ぎ、子ども達に繋げていくことが我々の責任だと思う。

郷土資料館については今までも何人もの方から指摘をいただいた。鋤などの農機具を空き教室を使って展示をしている小学校もある。

また、規模はそれほど大きくはないが上河内民俗資料館もある。

宇都宮全体としてそういうものをつくり、資料も含めて、保存していくべき物を残したほうが良いと思う。

あとは場所や規模、管理方法だが、これは宿題にさせていただきたい。様々な施設と併せて検討をしていきたいと思う。

発言 5 防犯灯のLED化について

防犯灯のLED化が進んでいるが、この事業は今後何年くらい続くのか。

それによってLED化の進ませ方も考えなければならない。

自治会の予算の関係上、何年間かかけてLED化を行っていきたいと思っているので、今後何年くらい補助事業が続くのか知りたい。

回答 所管課：生活安心課

【市長】

防犯灯については自治会の方々に管理をしていただき感謝している。

省エネと電力不足等を考え、宇都宮市もLED化の方針にした。LED化については、自治会の実情があると思うが、行政としては要望に応えられるよう、地域の負担を増やさず、今までの負担でLEDに交換出来るように予算を増やした。LED化の計画があるならそのまま計画を遂行していただきたい。まず生活安心課へ相談してほしい。

補助を減らすことは考えていないので自治会のスケジュールの中でLED化をしていってほしい。全ての自治会がLED化出来るようにしていくので計画的に行っていただきたい。

発言 6 駅東1号児童公園のホームレスについて（1）

烏山信用金庫の近くにある公園だが、そこに何年も住み着いているホームレスがいるのをご存知と思う。その件について市は何か対策を取っているのか。

子どもへの教育上からも悪影響があると思う。

回答 所管課：生活福祉第1課、生活福祉第2課

【市長】

その情報はつかんでいないが、駅や田川の橋の下など、地元の方から指摘や苦情をいただくことがある。

その時は警察と連携して対応していくが、特に冬は命の問題になるので、まずは安定的に生活出来るような住まいについてのアドバイスをしながら対応している。犯罪に繋がるなどということになると緊急を要すると思うが、対応策として、現在、市ではそのような対応を取っている。

所管課では民生委員又は地元の方などから相談等は受けているかもしれない。それを確認するとともに生活福祉課と警察等とで連携を取り、対応をしていきたいと思う。

発言 7 駅東 1 号児童公園のホームレスについて (2)

今の件について、ホームレスがベンチに寝ているので、何年か前にベンチの真ん中に仕切りを付けてほしいと要望したがそのままになっている状況である。ベンチの真ん中に仕切りを付ければ、寝ていられなくなると思う。

冬も元気そうであり、数年間いるがいたずらをするわけではないので黙認しているのだと思う。

回答 所管課：公園管理課，生活福祉第 1 課，生活福祉第 2 課

【市長】

対応として、ベンチの真ん中に仕切りを付けることは出来ると思う。市庁舎などでは既に設置をしている。まずは市が仕切りの設置と併せて、本人に接触していきたいと思う。

発言 8 飲食店街のごみの出し方について

駅の西側は比較的きれいであるが、駅の東側はごみが多い。宇都宮に来た方からは「何だ、宇都宮は」と言われてしまう。きれいなところはとてもきれいであり、汚いところは大変汚い。何とかしてきれいにならないかと通るたびに感じる。飲食店街からのごみがちらかってしまっている。

回答 所管課：ごみ減量課，廃棄物対策課

【市長】

飲食店街にはごみの出し方などもあわせて指導していきたいと思う。